

第10回新しい資本主義実現会議 提出資料

2022年10月4日

株式会社経営共創基盤

IGPI グループ会長 富山和彦

・新しい人的資本主義実現の課題：包摂的なセーフティネット構築と人材市場抜  
本改革

- ーコロナ明け、我が国の社会経済史上、空前かつ恒久的な人手不足の時代がや  
ってくる→雇用政策の中心は失業対策よりも雇用の質向上へ
- ー企業と産業の新陳代謝を妨げ、我が国の産業構造の転換を妨げ、かつ今や  
様々な不公正や非効率性を生んでいる過度な企業内共助依存システムから  
脱却する絶好のチャンス。すなわち・・・
- ー一方で賃金上昇に耐えられない企業は規模の大中小を問わずスムーズに退  
出あるいは再編統合していくことを促す
- ー他方で社会保険、雇用保険、就労支援、子育て支援など様々なセーフティネ  
ットを国民個人にダイレクトに張り巡らす、包摂的な社会共助型への転  
換→包摂性、公正性、効率性を失っていく従来の中間組織（企業）依存型か  
ら、デジタル技術とマイナンバーを駆使した「中抜き」かつ個別対応型のセ  
ーフティネットシステムに転換

- 正規か非正規か、就労中か休退職中かに中立的な、全世代、全国民包摂型セーフティネットへ
  - 労働者保護も企業内共助偏重ではなく、社会共助とダイナミックな外部労働市場機能を軸にした北欧型の積極的雇用政策へ急ぎシフトすべき→賃金上昇を優先するなら、経済的な補償責任強化によって個別企業の雇用維持責任を緩和し、不当解雇規制も労働者が復職か転職（金銭的救済）かを中立的に選べるようにすべき
  - かかる包摂的セーフティネットとダイナミックな人材市場の実現は、企業と産業の新陳代謝と相まって人手不足社会の我が国の持続的所得上昇をもたらし、インフレ経済への耐性を抜本的に強化する
- ・新しいスタートアップ型資本主義実現の課題：「レベルプレイングフィールド」の確立
- デカップリング化の嵐の中で、巨大化した世界のスタートアップマネーは行く先を失っている状態
  - 世界の（特にアジアの）トップスタートアップ人材も活躍の場を再考せざるをえない状態
  - 北欧バルト 7 か国で昨年 13 件、今年は 8 月までで既に 11 件の新たなユニ

コーンが生まれている

- 経済規模も人口も研究機関数もはるかに日本より小さいこれらの国でなぜこれだけ多くのユニコーンが生まれるのか？
- 北欧やイスラエルは、シリコンバレーなどに劣後しないレベルプレイングフィールドが色々な意味で整っていて、世界一流のスタートアップ人材と世界一流のスタートアップ投資マネー（VC、企業、機関投資家）が流れ込むから、すべてが桁違いになる
- 裏返して言うと、日本は色々な意味でレベルプレイングフィールドになっていないということ→税制、会社法、金商法、労働規制、契約慣行、IPO 慣行・・・ここでもガラパゴス化が進んでいる？
- あらゆる意味でレベルプレイングフィールドを全力全速で整備構築すべし
- 地政学的な環境変化、Web3.0 シフトやディープテックシフトの中、これさえ整備できれば、世界の人材とマネーは自然に日本に集まり、我が国のスタートアップエコシステムは世界のトップティアリーグに昇格できる
- 北欧やイスラエルとのレベルプレイングフィールド比較、点検をまずは行うべし